



## 理学部同窓会の概要と近況

岡山大学同窓会理事(理学部)

川本 平山

Kawamoto Heizan

昭和42年理学部卒業  
前岡山大学教授

### 理学部の設置と発展

岡山大学理学部は、新制岡山大学が発足した昭和24年5月に法文学部、教育学部、理学部、農学部、そして医学部の5学部体制の一員として設置された。理学部は、第六高等学校理科を母体として発足しているが、設置に当たっては第六高等学校の卒業生である理化学研究所故仁科芳雄博士の献身的な尽力に負うところ大である。理学部は、当初は数学科、物理学科、化学科、生物学科の4学科体制、学生定員130名(医学進学課程50名を含む。)で発足し、昭和42年に地学科(現地球科学科)を増設して現在に至っている。また、昭和29年に専攻科を設置、昭和39年に大学院理学研究科(修士課程)を設置、そして昭和62年に大学院自然科学研究科(博士後期課程)を設置して教育・研究体制が整備された。開学時の岡山大学は、5学部、学生定員は1,040名であったが、60余年の歳月を経た平成23年現在では11学部とMPコースに拡充され、学部学生と大学院生を併せた学生総数は13,560名に及んでいる。そして、毎年卒業生と修了生を併せて約3,300名を送り出し、理学部関係では全学の約10パーセントにあたる約300名を輩出し、教育、研究、情報、通信、金融等々社会の多岐にわたる分野において活躍している。

### 理学部同窓会組織の現状

理学部における同窓会組織は、自然科学の各分野にわたる学科の特殊性から、学科同窓会として緊密に機能しているものから、卒業生の自主独立を重んじる余りに同窓会が組織されていない、あるいは組織されても機能せず閉鎖されたものまで多様である。

昭和38年入学の私には、当時の大学では、学生間、学生と教授間、先輩後輩間の絆は細くとも強いものがあったように記憶している。やがて、時を経て大学紛争を経験することとなり、学生を取り巻く状況は一変して人間相互不信に陥る不幸な時代を迎えた。大学紛争の影響はきわめて大きく、その後の大学教育は、言うまでもなく学科同窓会のあり方にも大きな影を落とすこととなり、学生と彼らを取り巻く社会との絆は細く弱くなっていった感がある。あれから40余年…。安定と円熟の社会を迎えた今、絆の大切さが改めて問われている。このあたりで総論から各論に入ることとする。

化学科では、新制大学第一期生の卒業後間もなく、昭和31年3月に「岡山大学理学部化学教室同窓会」が設立され、その会則には

「本会は会員間の協和親睦を図り併せて母校との関係を密接ならしむるを以て目的とする」と謳っている。爾来、同窓会では、会報「レゾナンス」の発行と会員名簿の作成、総会を行い、約1,500名の会員相互の連携と親睦に努めてきた。同窓会を通しての学部、研究科への貢献としては、新入生研修に際しての会社・研究所見学、研修講師の招聘、卒業生による就活への助言等々が活発に推進されてきた。しかしながら、平成17年4月から個人情報保護法の全面施行に伴い、会員名簿の発行が困難になってきたことから、同窓会組織としての機能低下が懸念されている。理学部における他の学科、生物学科においても「岡山大学理学部生物学科同窓会」が組織され、また地球科学科においても同様に「岡山大学理学部地球科学科同窓会」を有して、それぞれ約1,100名及び約900名の会員に対して、化学科と類似の活動や貢献を行っているが、同様の組織運営の問題点も内包している。

### 新生「理学部同窓会」の構築に向けて

岡山大学理学部も発足から60余年を経過した。戦後間もなくの食糧、衣服、教材、何から何まで窮乏した貧しい環境の中で、勉学と復興の強い意志を持った先輩各位の献身的な努力により、我が国は世界にまれな復興を成し遂げた。昭和から平成の世となり、今年、平成元年生まれの卒業生が主役となる。平和と豊穡の世に何不自由なく育った新しい世代には、新しい絆があり、世代に合った新しい革袋が必要であろう。ひとつ通信手段を例にみても紙媒体から電子媒体に変わり、情報の伝達とそのスピードは隔世の感がある。リアルタイムの生活に慣れ親しんでいる平成の世代にあった組織の構築とその機能的な運用が求められている。理学部と理学部同窓会では、卒業生に対する大学情報の提供とその共有は、教育・研究活動の一環であるとの認識から、従来の反省を踏まえて理学部同窓会の再構築に取り組んでおり、新年度での発足を目指して鋭意検討を進めている。新生「理学部同窓会」が会員相互の情報交換を通して協和と親睦を図り、母校との絆を密にして、その教育・研究に寄与することを望んでやまない。そして、岡山大学同窓会が学部同窓会連合体の司令塔としての役目を担い、11万5千人を越える卒業生の母校である国立大学法人岡山大学の発展に向けて大きく貢献することを期待している。

# 岡山大学の動き

## 御挨拶

私は、昨年(2020年)の4月から、岡山大学理事(社会貢献・国際担当)の職に就任し、同時に同窓会の担当理事として業務に携わらせていただいております。

さて、同窓会の皆様には、日頃、御多忙の中、岡山大学の同窓会発展のために多大なる御尽力をいただいております。まずもってそのことに心から御礼申し上げます。

御承知のように、平成16年4月の国立大学の法人化に伴い、大学を取り巻く状況も激変いたしました。それ以後大学の同窓会の強化・充実、全国の国立大学の大きな課題となり、岡山大学においても、平成18年に全学同窓会が設立されました。

今後は、学部同窓会への支援とともに、この全学同窓会の拡充強化を図るべく、小長啓一同窓会会長の御指導のもと力を尽くす所存でございます。誇りある岡山大学を築けますよう邁進して参りますので、皆様におかれましても、母校への御支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



荒木 勝

岡山大学理事・副学長  
【社会貢献・国際担当】・【同窓会担当】  
岡山大学同窓会顧問

## ホームカミングデイ2011

同窓生が母校に集う「岡山大学ホームカミングデイ2011」が、開学記念日の10月22日に開催されました。

メイン会場となった創立五十周年記念館(金光ホール)での歓迎式典では、森田潔学長や小長啓一同窓会会長から挨拶があり、グリークラブ、ギターマンドリンクラブ、J A Z Z研究会の3つの学生サークルによるウェルカムコンサートがありました。

また、応援団総部による歓迎と送別の演舞やキャンパスツアーのほか、お茶席、福引き抽選会、各学部やサークルごとの講演会や懇親会、ミニ同窓会、OB・OG交流戦など多彩な催しが開かれ、訪れた同窓生は、再会した旧友や恩師と懐かしい時間を過ごしたり、現役の学生と語り合うなど、秋の一日を楽しみました。

次回は、平成24年10月20日(土)に開催する予定です。

詳細な御案内は、後日、ホームページ等でお知らせいたします。



## 卒業生フォローアップセミナー (東京・大阪・岡山) 開催

岡山大学キャリア開発センターでは、平成22年から、法文経学部同窓会支部(東京)、同窓生若手有志(大阪・岡山)の協力を得て、異業種交流会として卒業生フォローアップセミナーを開催しています。各界で活躍されている同窓生等を中心に講師として招き、本学同窓生を対象にキャリア支援の場を作り、同窓生のさらなる活躍のための視野拡大、同窓会ネットワークの充実・強化、大学と同窓会との関係強化と母校に対する支援意欲の向上、愛校心の向上、そして現役学生の就職支援につなげることを目的としています。

平成23年度は、東京サテライトオフィスでは、尾原和啓氏、小長啓一同窓会長、中門弘法文経学部同窓会東京支部長、大阪では、後藤昌之氏、岡山では、キャリア開発センターの杉山慎策教授を講師に開催しました。毎回、中堅・若手同窓生を中心に、各々が各業界の話題を共有しながらネットワーク作りに活用いただいております。参加者にとって、岡山大学が総合大学であることの有利さを再認識するとともに、後輩である現役学生の支援を含め、母校への愛校心を呼び覚ます場となっているようです。

キャリア開発センターとしては、同窓生との絆を強くしながら、学生の就職支援を中心に、同窓会活動の活発化や発展に少しでも貢献できるよう、引き続きこのセミナーを定期的に開催してまいります。是非、同窓生の皆様には、お気軽に御参加いただければと存じますので、今後とも御支援御協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

岡山大学キャリア開発センター

### 【於：岡山大学東京サテライトオフィス】



問題提起をする小長同窓会長



熱い議論をする同窓生参加者

## 学生の活躍

### 【陸上競技部】

- 第29回全日本大学女子駅伝対校選手権大会(平成23年10月23日開催)に出場し、全出場校26校中17位

### 【将棋部】

- 第85回中国四国学生将棋大会の団体戦で優勝
- 全国大会(富士通杯)に出場し、過去最高の第5位(出場校10校)
- 秋季開催の第86回中国四国学生将棋大会の団体戦で優勝

### 【歯学部準硬式野球部】

- 平成23年度の全日本歯科学学生総合体育大会(通称歯学体、あるいはオールデンタル)において、歯学部準硬式野球部が優勝(全国29の歯科大学・歯学部が参加)

**【応援団総部吹奏楽団】**

- 岡山県吹奏楽コンクール金賞(岡山県代表)
- 全日本吹奏楽コンクール中国大会銀賞

**【水泳部】**

- 中四国学生選手権大会男女共に団体優勝
- 全国国公立大学水泳選手権大会男女共に団体3位

**【ウェイトトレーニング部】**

- カナダで行われた世界ジュニアパワーリフティング選手権大会に出場し、西村義人(医学部3年生)が男子66Kg級2位、造酒泰子(農学部4年生)が女子43Kg級2位となった。

**【ラクロス部】**

- ラクロス部男子が3年連続で第3回全日本ラクロス大学選手権大会に出場

出場校は、全日本大学選手権大会の関東学生ラクロスリーグ1位、東海学生ラクロスリーグ1位、関西学生ラクロスリーグ1位と4地区予選(中四国地区、九州地区、東北地区、北海道の4地区)で優勝の1校の計4校(岡山大学は、3年連続で4地区予選に優勝し、出場)

**【中国五大学学生競技大会(夏季・冬季大会)各競技1位のサークル】**

- 水泳部(男子・女子)、テニス部(女子)、弓道部(男子・女子)、サッカー部

**【坪井遥司(フィギュアスケート部)】**

- 日本スケート連盟強化選手Bに指定され、I S Uジュニアグランプリオーストラリア大会7位、I S Uジュニアグランプリイタリア大会17位、国内では、中四国九州ブロック(Jr.)2位と活躍

**研究の成果**

- 大学院自然科学研究科の沈建仁教授と大阪市立大学の研究グループは、光合成において光エネルギーを利用し、水を分解して酸素を発生させる反応の謎を解明しました。  
また、学術雑誌サイエンス(Science, 米国)の「2011年における10のBreakthrough of the Year (画期的成果)」の一つに選出されました。
- 大学院自然科学研究科の山中寿朗准教授と千葉仁教授を代表とする九州大学などの研究グループは、鹿児島湾奥部海底で2007年に発見した熱水噴出孔の海底下に、レアメタルの一つアンチモン(Sb)を主成分とし、金を含む有望な鉱床が存在することを確認しました。
- 岡山大学病院では、小児心不全の予後を改善させる目的で、患者さん自身の心臓内幹細胞を用いた細胞移植療法を世界で初めて臨床実施しました。  
今回の細胞移植は、佐野俊二教授が心臓手術時に右心房より余剰組織を採取し、王英正教授が大量培養後、大月審一教授によって、心臓カテーテルを用いて患者さん本人の冠動脈内に移植されました。

- 埋蔵文化財調査研究センターは、鹿田キャンパスに位置する鹿田遺跡の発掘調査で、11世紀中頃(平安時代後半)の猫形木製品を発見しました。

本資料は、芸能民である傀儡(くぐつ)が使用した操り人形と考えられます。動物形の操り人形としては、最古段階に位置づけられるもので、芸能史において特筆される発見といえます。

- 大学院医歯薬学総合研究科の森田学教授のグループが、かみ合わせの異常がアルツハイマー病の原因といわれるアミロイドβをラットの海馬に増加させることを世界で最初に証明しました。
- 大学院環境学研究科の高口豊准教授らの研究グループは、カーボンナノチューブを光触媒として利用するための材料融合技術を開発し、ナノメートルスケールの構造が制御された全く新しい同軸ケーブル構造を持つカーボンナノチューブ光触媒を合成しました。この光触媒を用いると、可視光(波長450nm)照射下での水の光分解による水素発生効率が31%というこれまで知られていないなかで最高の値を達成することができます。

(詳しくは、岡山大学ホームページを御覧ください。)

**東日本大震災支援活動**

岡山大学では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災に対して様々な支援活動を行っております。

- 教職員による義援金14,163,150円を社会福祉法人山陽新聞社会事業団に寄託しました。
- 岡山大学病院医療スタッフが医療支援活動を行いました。
- 中四国の国立8大学が東北大学等に支援物資を送りました。
- 自然生命科学研究支援センター技術専門職員が、放射性物質の分布状況等に関する緊急調査活動を行いました。
- 岡山大学被災者支援ネットワーク(とんかちプロジェクト、おかやまバトン、ふんばろう東日本支援プロジェクト@岡山)が支援活動を続けております。
- その他にも多くの教職員及び学生によるボランティア活動が続けられております。

**岡山大学21夢基金への御支援について**

この基金は、岡山大学が、創立60周年を迎え、その記念事業として学内外に広く寄附を募り、その運用益を恒久的に、奨学金、教材の充実、国際交流資金、学習環境整備等に活用することといたしております。

本趣意を御理解いただき、格別の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月末現在、756件19,070,900円の御厚志をいただいております。

詳細は、<http://www.okayama-u.ac.jp/user/kouhou/kikin/>を御覧いただくか、岡山大学総務・企画部総務課総務グループまでお問い合わせください。(TEL:086-251-7007)

# 全学同窓会からのお知らせ

## 岡山大学同窓会役員等

岡山大学同窓会の役員・顧問一覧です。

平成24年3月現在

役職名	氏名	備考
■ 役員		
会長	小長啓一	法文経学部同窓会
副会長	陶浪保夫	法文経学部同窓会
〃	小谷秀成	医学部同窓会
理事	高旗正人	教育学部同窓会
〃	川本平山	理学部同窓会
〃	※松井秀樹	医学部同窓会
〃	窪木拓男	歯学部同窓会
〃	岡本敬の介	薬学部同窓会
〃	加藤珪一	工学部同窓会
〃	奥山一典	環境理工学部同窓会
監事	近藤弦之介	法文経学部同窓会
〃	宮本拓	農学部同窓会
事務局長	坂東靖夫	
■ 顧問		
顧問	金光富男	名誉会員(法文経学部同窓会)
〃	※森田潔	学長
〃	※許南浩	理事(企画・総務担当)
〃	※阿部宏史	理事(教育担当)
〃	※荒木勝	理事(社会貢献・国際担当)
〃	※清水耕一	文系学部長(経済学部長)
〃	谷口秀夫	理系学部長(工学部長)

※平成23年10月22日付け新任

## 全学同窓会役員会・総会を開催

平成23年10月21日(金)に岡山大学同窓会役員会を開催しました。総会は、翌日の開学記念日10月22日(土)に開催しました。

今年度は、岡山大学ホームカミングデイの諸行事と併せての開催で、金光ホールでの歓迎式典後の総会では、平成22年度の事業報告、会計報告や平成23年度の活動計画などが承認されました。

また、大会会館で行われたウエルカムパーティーでは、ギターマン・ドリソクラブなどの生演奏の中で、森田学長や大学教職員と多くの同窓生が互いの旧交を温めました。

総会の議事要旨や資料は、岡山大学同窓会のホームページで御覧いただけます。



平成23年度同窓会総会風景



平成23年度同窓会ウエルカムパーティー風景

## 平成24年度総会の開催予定

平成24年度の岡山大学同窓会総会の開催は、10月20日(土)に開催いたします。

詳細は、改めて岡山大学ホームページ等でお知らせいたします。

## 岡山大学同窓会ウェブサイト

岡山大学ホームページに、岡山大学同窓会ウェブサイトを開設しています。

総会等の事業報告、役員等の紹介などの同窓会の動きのほか、岡山大学から同窓生の皆様へのお知らせなどの情報提供を行っています。

# 学部等同窓会からのお知らせ

下記のURLから御覧いただくか、岡山大学ホームページから「卒業生の方ー岡山大学同窓会」とリンクをたどっていただいても御覧いただけます。

## 岡山大学同窓会ウェブサイト

URL:<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/>



## Gmailによる配信

岡山大学では、平成21年4月から、卒業生や退職職員の方々に、希望により無料で利用できる「生涯メールアドレス」を提供するサービスを開始いたしました。このメールアドレスには、岡山大学から定期的にメールマガジン(本学や同窓会主催のイベント情報、卒業生や退職職員から寄せられる情報・寄稿、本学の取り組み等)等をお届けしております。

このシステムを利用して、同窓会からだけでなく、同窓生の皆様からの配信も可能となり、将来にわたり双方向ツールとして活用できます。

配信を希望される方は、本人確認後、アドレス付与の手続きをお願いします。

詳細は、岡山大学情報統括センターの「Gmail特設ホームページ」を御覧ください。

URL:<http://www.okayama-u.ac.jp/user/cc/gmail/>

## ◆ 住所変更等の手続きのお願い ◆

同窓会報を皆様のお手元に確実にお届けするため、お名前・御住所等を変更された場合は、下記事務室まで御連絡ください。

御連絡いただいた情報は、皆様の所属学部同窓会にも連絡するとともに、岡山大学同窓会において適切に管理いたします。

また、岡山大学21夢基金の御案内にも利用させていただきますので、御了承ください。

連絡先：〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1

岡山大学同窓会事務室

TEL・FAX:086-251-7019

E-mail:dousoukai@adm.okayama-u.ac.jp

岡山大学同窓会報は、約6万人の同窓生にお届けしております。

## 法文経学部同窓会

### 【岡山大学法文経学部同窓会岡山総会の開催】

日時●平成24年7月6日(金)18:00～20:00

場所●未定

連絡先●田邊(法文経学部同窓会事務局)

岡山市北区津島中3-1-1(社会文化科学研究科内)

TEL:086-251-7344 Fax:086-251-7350

e-mail:tanabe-k2@adm.okayama-u.ac.jp

### 【東京支部総会の開催】

日時●平成24年7月27日(金)

18:30～20:30(18:00～受付開始)

場所●K K Rホテル東京を予定しています。

(東京都千代田区大手町1-4-1)

幹事団に若手有志が積極的に参加。一期生から今年卒業したメンバーまで幅広い年代、業種の方が集まります。学部を越えて積極的に開催したいと考えておりますので、お気軽に御参加ください。お待ちしております。

問い合わせ先●東京支部事務局 宮道 力

TEL:03-6225-2905

e-mail:alumni@okayama-u.ne.jp

### 【大阪支部総会の開催】

日時●平成24年7月6日(金)18:30～

場所●弥生会館(大阪市北区芝田2丁目4-53)

当支部では、4月頃に各期幹事会を開いて、年間の行事の開催や会計報告書を評議しています。30期前後の幹事も出席し、活発な発言も見られます。行事も従前から囲碁・ゴルフコンペに続けて色々な企画の話は出てきますが、若手会員の参加が少ない為に企画が成立しません。若い会員の方々には是非参加をされて、総会場で発言して、本会を盛大なものとしてください。

支部総会、囲碁・ゴルフとも詳細は、下記にお問い合わせください。

大阪支部事務局長 小野健二 TEL:06-6222-5678

大阪支部長 高村順久 TEL:06-6365-5005

e-mail:t-takamura@sun-lo.com

※名古屋・神戸・広島・山口・香川・愛媛・島根及び津山の各支部総会は例年どおり7月～9月中に開催予定です。

### 【島根支部から 支部長:富田 幹彦】

毎年恒例の同窓会島根支部総会・懇親会を、平成23年9月2日に松江市で開催いたしました。

当日は台風直撃にもかかわらず、無事(?)同窓会本部より高橋監事様、大学より佐野法學部長様をお迎えし、37名で賑やかに杯を傾けました。学部を越えた同窓会も定着し、近況報告など1年振りの再会に話の花を咲かせました。

男性会員から、他テーブルの女性会員に「学生時代、金甲山へドライブに行ったね」との爆弾(暴露)発言(?)もあり、会場は爆笑の渦に包まれました。

## 学部等同窓会からのお知らせ

和気あいあいとした島根支部の集いに、ぜひ御参加ください。  
お待ちしております。

### 【津山支部から 支部長:徳田 忠子】

平成23年7月23日、津山国際ホテルに於いて総会が開催されました。第20回で記念すべき会となりました。経済学部長清水耕一氏、同窓会副会長竹本秀忠氏、支部出席者16名で、もう少し出席者を増やしたいものです。アトラクションは、美甘琢之氏によるサミュエル・ウルマン原作「青春Youth」の朗読、フルート奏者の演奏など楽しいひと時を過ごしました。



## 教育学部同窓会

### 【近況のお知らせとお願い】

— これからの行事予定 —

【会報第13号の発行】 3月10日

### 【平成24年度総会行事】

日 時●平成24年5月26日(土)

場 所●ピュアリティまきび

日 程●評議員会・理事会 9:30～10:00

●総 会 10:00～11:00

●講 演 11:00～12:00

講師:岡山大学教育学部教授 泉谷 淑夫 先生

演題:未定

懇親会 12:00～14:00

【第14回シンポジウム】 12月

### 【ホームページが開設されています】

「岡山大学教育学部同窓会 検索」とクリックすると同窓会ホームページを見ることができます。

※お願い…同窓生の動向や同窓会への要望、有益な情報等がありましたら、御連絡ください。

Tel・Fax:086-251-7660 (教職相談室 松原 泰通)

又は同窓会事務局 Tel・Fax:086-251-7583 (松原 泰通)

## 鶴翔会(岡山医学同窓会)

### 【鶴翔会総会の開催】

日 時●平成24年6月2日(土) 13:00～20:00

場 所●岡山プラザホテル

### 連絡先●鶴翔会事務局

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

Tel:086-235-7060 FAX:086-221-3959

e-mail:dosokai@md.okayama-u.ac.jp

当日は、総会、講演会、懇親会等が開催されます。多数の御参加をお待ちしております。

### 【鶴翔会ホームページ】

鶴翔会のホームページを平成23年10月にリニューアルしました。

鶴翔会の紹介やお知らせ等を掲載しています。どうぞ御覧ください。

今後、内容を充実していきたいと考えておりますので、御意見、御要望をお寄せください。

URL:<http://www.okayama-u.ac.jp/user/mdosokai/>

### 【医学部創立150周年に向けた取組】

医学部は、平成32年(2020)に創立150周年を迎えます。医学部では、創立150周年を慶賀し、更なる発展の礎となる記念事業を進めていくため、岡山大学医学部創立150周年記念事業実行委員会を組織し、第1回委員会が平成23年8月21日に開催され、熱のこもった討議が行われました。

### 【支部活動】

鶴翔会の各支部では、支部総会開催等の活動を行っています。詳しくは、お近くの各支部(ホームページに掲載)にお問い合わせください。

## 助産師同窓会

●岡山大学助産師同窓会の会員数は、平成23年4月の時点で919名です。

●平成24年4月から、大学院での助産師教育を行うことになりました。同窓会の皆様方の御支援に感謝申し上げます。

●岡山大学医学部附属助産婦学校開校時の教務主任であった吐山ムツコ先生が、平成23年8月22日に急逝されました。平成24年3月25日(日)に、同窓会として「先生を偲ぶ会」を行います。先生の御冥福をお祈りいたします。

●定時総会(5年ごとの開催)は、平成25年9月28日(土)にアークホテルで開催することが決まりました。同窓会会員の皆様方には御案内を差し上げますので、奮って御参加ください。

## 工学部同窓会



工学部同窓会代表幹事(会長)

加藤 瑠一

### 【工学部同窓会の現状について】

工学部は、昭和35年(1960年)に2学科80名でスタートし、昭和45年(1970年)工学部創立10周年を記念して、学科ごとの同窓会を束ねる組織として「工学部同窓会」が発足して現在に至っています。

工学部同窓会活動としては、研究室あるいは学科ごとの同窓会活

動、また、同期会などもあり、活発に活動している同窓会がある反面、それほど活発でない同窓会もあり、活動はまちまちです。

その中で、工学部同窓会は、次のような事業を行っています。

- 1 新入学生の同窓会入会勧誘(入学時から会費を払い同窓会メンバーとなる)
- 2 同窓会会報の発行(年1回)
- 3 同窓会名簿発行(5年ごと)
- 4 工学部創立周年記念行事への協力(10年ごと)
- 5 各学科同窓会に対する会費収入配分(入会金の一部を配分する)
- 6 各学科、各地区同窓会活動の資金支援
- 7 ホームページを活用した広報、啓発活動など

今後の課題としては、各地区での同窓会「地区支部」の設立と活動の強化があります。地区支部は、現在「関東地区」だけのため、今後、他の地区での設立支援も行いたいと考えています。

工学部同窓会の益々の活性化を祈念して筆を置きます。

## 環境理工学部同窓会

環境理工学部では、平成23年度岡山大学ホームカミングデイにおいて、「卒業生を囲む会」と題して、環境デザイン工学科在学学生と卒業生との懇談会を開催しました。これは、第一線で活躍されている先輩(本学卒業生)を大学にお招きして、職業人としての経験談や考え方をお話いただき、先輩が活躍されている企業の戦略や求める人材像を知ること、学生の就職活動を支援する企画です。

本会では、環境デザイン工学科同窓会である岡山大学環会の後援のもとに、公務員、建設業、コンサルタントの各分野から8名の卒業生に話題提供をいただきました。また、質疑応答や個別相談の時間を設けていただき、参加した多数の学生達の質問にも答えをいただくことができました。

ちなみに、昨年度の環境理工学部の就職率は92.4%であり、全国理系【24位】、中国・四国理系【3位】(週刊東洋経済2011.10.22による)とのことです。このような後輩達への就職支援も同窓会の重要な活動であると考えています。今後とも環境理工学部同窓会活動に対する御理解をいただければ幸いです。

環境理工学部同窓会 教員代表幹事 竹下 祐二



「卒業生を囲む会」の開催風景

## 農学部同窓会

### 【岡山大学農学部同窓会広島県支部総会の開催】

広島県支部では、毎年1度総会が開催され、毎回20～30名程度の会員と農学部から同年度退職予定の教員を中心に4、5名の教員が参加し、和気あいあいと楽しい総会になっています。ちなみに、昨年は同窓生26名と農学部からは杉尾教授(昨年度御退職)、黒田教授(昨年度御退職)、白石教授、久保田教授、奥田教授(今年度から同窓会長、農学部長)が出席されました。

今年の開催は、下記のとおりです(みなさんがこれをお読みになる時には終了していますが…)

日時●平成24年3月3日(土) 12時～

場所●ホテルセンチュリー21広島

なお、他にも農学部支部の行事等の事例や予定などがありましたら、農学部同窓会まで御連絡をお願いします。

## マッチングプログラムコース同窓会

朝夕寒暖の差が益々激しくなり、冬を感じ始めた11月下旬、第2回マッチングプログラムコース(MPコース)同窓会総会・懇親会を開催しました。

総会には、同窓生約20名が参加し、岡山大学教育担当理事で副学長の阿部宏史先生をはじめ、MPコースを支えてくださっている先生方、事務の方々合わせて9名を来賓としてお迎えすることができました。同窓会会長、吉田光佑先輩の挨拶より開会し、活動報告や同窓会会則の改正、会計報告などを行い前年同様懇親会へと移っていきました。

総会・懇親会を通して、来賓の方々の挨拶や同窓生の近況報告を聞き、改めて自分がMPコースという大きな流れの中にいることを感じ、とても有り難い気持ちになりました。これからも同窓生として現役学生を支え、自分達がそれぞれの場所より高く羽ばたくことでMPコースを盛り上げていきたいと思いました。

最後になりましたが、当日御来場くださいました来賓の方々、同窓生の皆さん、そして役員の皆さんのおかげで今年も同窓会総会・懇親会が開催でき、素敵なおひとときを過ごすことができました。深く感謝いたします。来年11月の総会でまた皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

佐藤 緑



# 寄稿 絆

## 法文経学部同窓会東京支部及び工学部同窓会関東支部合同総会

2011年7月22日(金)、東京都千代田区霞が関にある法曹会館において、法文経学部同窓会東京支部総会を開催しました。今回は、数年前より斎藤礼士前支部長のもとで進めてきた工学部同窓会関東支部との合同開催という記念すべき支部総会となり、来賓、同窓生、荒木同窓会担当理事をはじめとする大学関係者を合わせ、総勢83名が参加しました。参加者は、大学関係者から大学の近況を伺うとともに、旧友との再会や1期生から卒業したばかりの同窓生まで、幅広い世代にわたり交流を楽しみました。

今や岡山大学は、全国有数の総合大学となり、各学部を卒業した後、多方面で活躍する同窓生が存在しております。東京地区では、東京サテライトオフィスを拠点に、各世代の同窓生が学部を越えて定期的に集まり、情報交換や交流をしておりますが、支部総会等を中心とした同窓生のつながりは、次代を担う中堅・若手同窓生の人脈づくりの場ともなっております。来年度から医学部同窓会東京支部も合同で開催することも、小長啓一同窓会長、坂東靖夫同窓会事務局長のもとで進んでおります。多方面で活躍する各学部同窓生が一堂に会することにより、大学を支える意識の醸成へとつながればと思います。この東京地区が全学同窓会活動の魁となり、母校の発展に少しでも寄与できればと思います。

法文経学部同窓会東京支部長 中門 弘

工学部同窓会関東支部は、工業化学1期生の坂東靖夫さん(全学同窓会事務局長)と同じく工業化学2期生の藤澤芳朗さん(工学部関東支部事務局長)の2人が中心になり、工学部同窓会関東支部を立ち上げ、4年に1度のオリンピックの年に同窓会を開催することにして北京オリンピックの年まで続けてまいりました。

その後、法文経学部同窓会東京支部総会に招かれ、工学部から2~3人で参加していたところ、世話役の宮道力さん(東京サテライトオフィス准教授)から、将来、学部を超えた同総会にしたいと熱心に語られ、工学部同窓会関東支部では、有志会を開き議論を重ね、社会人として活躍する人達にとっては「同業も良いが異業種の集まりにも興味あり」と、学部を越えての同窓会も大いに結構ということになりましたが、最初から全学部は難しいだろうから、まず、法文経学部と工学部で始めてみようとなし、法文経学部・工学部の世話人会で決

定され、宮道力准教授の尽力により、盛大に合同支部総会を開催することが出来ました。

今後、更に、東京で活躍する多くの岡山大学同窓生が集まり、お互いの協力支援や大学発展の支援の力が増せばと思います。

工学部同窓会関東支部長  
原田 正憲



## 岡山大学留学生同窓会設立



平成23年10月22日に岡山大学留学生同窓会設立記念式典が国際交流会館で行われ、留学経験者による同窓会が産声をあげました。式典には、中国大使館副総領事を始め、岡山県経済界、地方自治体、国際交流団体からの来賓と国内在住の同窓生、現役留学生並びに海外から駆けつけた同窓生や学内関係者150余名が参加しました。参加者一同は、設立を祝い、情報交換を行うとともに、張紅会長を初めとする役員の紹介や多く寄せられた祝辞の披露、また、中国・韓国・バングラデシュ出身の有志による太極拳の演武、民族楽器の演奏、合唱などの余興を楽しみました。

岡山大学が1959年に初めて外国人留学生を受け入れて以来、

### 【お断り】

同窓会報の送付は、発送元や内容を明らかにして、会員の皆様に安心して受け取りいただけるよう、また、デザイン性やコストなどを考慮して透明封筒を使用しております。この件につきましては、御了承ください。

これまで3,200人が卒業・修了し、その出身国は、アジア諸国を中心に、全世界の70カ国・地域を超えております。

今後は、年に一回総会を開催するとともに、インターネットを通じて会員同士が情報交換できるシステムの構築やニュースレターを発行して、学術交流、ビジネス情報、大学の動静、会員の近況、同窓会の運営状況などを世界に発信していきます。また、中国の上海支部、大連支部、さらに韓国の支部や東京支部を順次立ち上げる予定です。

本同窓会の情報は、(独)日本学生支援機構のメールマガジン『Japan Alumni eNews』1月号で世界約150カ国・約24,000名の日本留学経験者に配信していただきます。

### 【注意喚起】

- 「岡大ジャーナル新聞会」と称する団体から、卒業生の皆さんへ取材や購読依頼があるようですが、この団体は岡山大学とは一切関係がありません。本件に関するお問い合わせは、学生支援課(086-251-7182)までお願いいたします。
- 「人事新報社」及び「学芸出版(株)」という企業から卒業生の皆様宛てに、同窓会名簿の作成を案内し、購入を呼びかけるダイレクトメールが届いています。「人事新報社」及び「学芸出版(株)」と岡山大学及び各同窓会とは全く関係がありませんので、個人情報や名簿購入の有無について返送する義務は一切ありません。万一返送されても岡山大学では責任を負いかねますので、くれぐれも御注意ください。